



PRESS RELEASE

報道関係各位

2021年7月9日

カリフォルニアワイン協会が本年度の活動計画を発表 2021年7月～2022年6月

カリフォルニアワイン協会(California Wine Institute、略称CWI)は、7月開始の新年度のキックオフとして2021年7月9日にインポーターズミーティングを開催、年間の活動計画を発表しました。

CWIは、成熟したワイン市場である日本における中長期戦略に変更は加えない方針ですが、コロナ渦による影響による料飲業界の打撃回復施策や重要性増加中の小売業施策、新たな教育プログラムによる知識拡張の機会提供、SNSやイベントを通じた消費者への訴求活動を優先項目としています。

10月に実施のプロモーション「カリフォルニアワインマンス」は、昨年同様、従来の対象であった小売店に加え料飲店も加え、緊急事態宣言により毎年春に実施の「バイザグラス・プロモーション」を遂行できなかった参加店のリカバーを支援します。期間中、第1・第3・第5週の週末に「カリフォルニアワイントラック」と称してポップアップ・バーを屋外に出店、感染対策強化の上、消費者とカリフォルニアワインとのタッチポイント拡大を図ります。

ワイン業界関係者対象の新たな活動としては、9月中旬よりCWI公認教育プログラム「キャップストーン・カリフォルニア」をスタートします。欧州・カナダ・日本を皮切りにグローバル展開するもので、日本ではワインスクールとオンラインで実施します。

3月には、これまで隔年実施の「グランドテイスティング」と毎年実施の「スプリング・テイスティング」を統合した「Alive ティスティング」を開催します。従来の試飲商談会を刷新し、カリフォルニアワインの多面的な魅力を生き活きと感じられるものにします。

その他の活動を含めた年間スケジュールは、[こちらの別添資料](#)をご参照下さい。

「2030年プラン^{*}」で掲げている①既存の輸出市場における販売強化 ②新たな市場への輸出拡大 ③輸出に従事するカリフォルニアのワイナリーの増加、のために、アジア全体が重要地域として位置づけられました。地域分割の再編により、これまでの日本代表であった扇谷まどかと手島孝大は、2021年7月1日付で新たに北アジア・豪州地域代表となり、日本・韓国・オーストラリア市場を担当します。

^{*}10年間で米国ワインの輸出売上高を25億ドル(約2,610億円)以上に拡大することを目指すプラン

カリフォルニアワイン協会(本部・カリフォルニア州サンフランシスコ)は、1,000社を超えるカリフォルニアのワイナリー及びワイン関連企業から構成される非営利団体で、ワインの生産や流通や消費に関する政策的な提言を行っています。輸出プログラムにおいては、世界18カ国に事務所を置き、世界27カ国でマーケティングとプロモーションを実施しています。ワイン業界関係者・メディア・消費者向け試飲会の実施などをサポートしており、毎年185以上のカリフォルニアのワイナリーが当プログラムに参加、142カ国にワインを輸出しています。日本事務所は、カリ

フォルニアワインの普及促進、日本市場における関税、非関税障壁の監視などを目的に 1985 年に設立されました。www.calwines.jp

以上

この件に関する読者からのお問合せ先 カリフォルニアワイン協会日本事務所 E-mail : info@calwines.jp 電話番号 : 03-6629-3658	この件に関する報道関係者様からのお問合せ先 KONDO SAORI OFFICE 近藤 さをり E-mail : saori@saorikon.com 電話番号 : 080-7011-5747
--	---